

6月は「心のきずなを深める月間」 「人権月間」です。

熊本県では、6月を「心のきずなを深める月間」とし、県下の小中学校、高等学校、支援学校では、いじめをなくし、許さない学校・学級をめざした取組を行っています。

宮原小学校でも、一人ひとりに教育相談を行ったり、「なかまづくり」の授業に取り組んでいきます。一年生では、「おともだち」というお話でなかまづくりについて学びます。みんなの中で生活することで、自分にはできても友だちにはできないこともあるだろうし、またその反対もあるでしょう。その中で生まれてくる友だち一人ひとりのしんどさやいたみを、自分には関係ないではなく、なかまみんなで分かりあったり励ましあったり、考えながら力をあわせたりと集団として解決していくことの大切さに気づかせていくものです。

おともだち

かえると、ひよこと、ありと、てんとうむしと、ねずみが、森へあそびに きました。川がながれています。かえるは、「この 川を およいでわたろうよ。」と、いって、ザブンと とびこみました。すいすい 川を およぎます。「さあ、みんな とびこむんだ。」川の 中で かえるは、いいました。「みんなは こまっと しまいました。ためだよ ほくらは 川をわたれない。」ねずみが いいました。ひよこも、はねを パタパタさせました。ありは、こわこわ 川をのぞきました。てんとうむしも、ひげをふりました。みんなは、どうしたら 川をわたれるか かんがえました。「なんとかして 川を わたろう。」「そうだ、そうだ。」みんなで、そうだんすることになりました。

学級一人ひとりが考えを出しあい話しあう中で友だちの意見を聞き、認めあうことで学級のつながりを深めていきます。しんどいことも話せる、安心できるなかまをめざしています。

